



「天城学習を終えて」

校長 三田 和弘

推定樹齢140～180年、静岡県天然記念物に指定されている青埴(あおはに)神社のシダレイロハカエデ。樹高が約4.5m、枝垂れの高さは約7.7mと、珍しい巨木の枝垂れカエデで、その姿は圧巻です。この時期には、なかなか他では見ることのできない紅葉になるようです。つい先日、神社の当番で準備をしていると、立派なカメラを持った男性が二人、枝垂れイロハカエデの色付きを撮影に、足を運んで来られたようでした。残念ながら、まだまだ紅葉とまでには至っていませんでした。

事あるごとにお参りする地元の神社で、カエデが天然記念物に指定されていることも知ってはいました。しかし、わざわざ急な坂道を上って写真を撮るまでのものだとは思っておらず、“地域再発見”を実感した瞬間でした。きっと、この土地にしかない魅力がたくさんあって、それが、自分たちの「地域の強み」なのだろうと再確認できました。ふと山々を見渡すと紅や黄に色づき始め、天城の自然の豊かさを感じます。

11月8日(金)、本校で天城学習発表会を行いました。1年生は福祉や天城の自然について、2年生は職業や防災について学んだことを発表しました。2年生は東京ラスク伊豆ファクトリー様の協力を得て、CM作りにも挑戦しました。3年生は、これまでの学習から天城の現状や強みを調査、理解し、中学生の鋭い感性で、実はこの土地にある財産を顕在化し分析することで、ユニークな強みを浮き彫りにして、地域活性化に向けた提案を発表しました。見聞きし、考え、発案し、まとめ、行動していることが大変素晴らしく、一人一人が相手意識をもって発表した姿勢は、本当に見事でした。自分たちの「地域の強み」を感じているのだろうと感心しました。



参観された保護者から次のような感想をいただきました。(一部抜粋)

《1年生》

- ・聞いてくれる人が興味をもち面白く伝えられるように工夫していてよかった。
- ・各班の子ども達の生き生きとした発表が見れて、とても感動した。

《2年生》

- ・自分たちの学んだ事を伝える、感謝の気持ち、伝え方、色々考えて取り組んだのだと感じた。
- ・自分達でCMを作るという事で取材から動画編集までこなし、すごく成長したなと思った。

《3年生》

- ・いろいろな視点での発表内容に感心した。新たな発想ばかりでなく、今あるものをよりよく改善していくこと、天城の良さがわかっている人じゃないと発信できないことなど、大人にもできることがあると気付かされた。
- ・上級生らしい、でも中学生らしい自由な発想のアイデアがたくさん出てきて感心した。
- ・準備も大変だったと思うが、それを感じさせないくらいどのグループも良い内容だった。3年生らしく堂々と発表し、声の大きさ読み方も気を付けていて素晴らしかった。自分も知らない伊豆市天城の魅力を知った。子供たちならではの発想もよかった。

さて、早いもので学校では年度後半を迎えました。生徒会の中心が3年生から2年生にバトンタッチされ、後期の生徒総会では、生徒会本部の活動目標「FINAL STAGE～天中の集大成～」が承認されました。3年学年委員会からは「結～天城中最高の最上級生として感謝の気持ちを持って生活しよう!」という目標が、2年生学年委員会は「進～自ら率先して発表しよう～」、1年学年委員会からは「『当たり前』を当たり前にするクラスにしよう」という活動目標が提案されました。

「天中を今以上にいい学校にしたい」という思いを多くの生徒が自分事として捉え、共有・確認できた温かい生徒総会でした。学校全体での活動を推進し、新たなステージを迎える生徒たちをサポートして参ります。

天城学習発表会



【1年生】



【2年生】



【3年生】

天城学習発表会
 1年生感想発表
 2年生感想発表
 3年生感想発表
 生徒会長



【1年生感想発表】



【2年生感想発表】



【3年生感想発表】

「生徒会長の言葉」

本日は、令和6年度天城学習発表会に多数ご来場いただき、ありがとうございました。各学年の発表や、学習の足跡を記した展示はいかがだったでしょうか。

私たち天城中生は、1年生は福祉学習と自然学習、2年生は防災学習と職業学習、3年生は伊豆市の活性化の手立てを中心にするさと天城の未来のための学習を進めてきました。どの学習を行っても、天城の持続可能な発展、活性化はとも重要であるということに辿り着きます。

私たち2年生も、防災学習では、災害による被害を抑えるために自分たちにできることについて考え、職場体験では、天城の職業や、社会について深く学ぶことができました。災害の被害を乗り越えること、天城の職業をさらに活発にしていくこと、どちらも最終的には天城という地域が一步前進する、つまり発展していくことだと考えています。また、そのためには一人一人が天城に真剣に向き合い、行動を起こすことや、人とのつながりや絆を大切にしていくことがポイントであるということがわかりました。

天城学習は、まずいろいろな視点から天城のことについて知っていくことからはじめ、講座、校外学習、体験、制作などの様々な活動を重ね、最終的に中学生の私たちができることを提案、決意するところまで行います。この天城学習は、これからふるさと天城を守っていく私たちにとって、とても貴重で良い経験であると、私は考えています。

その素晴らしい天城学習が今年度で幕を下ろしてしまうということは大変残念なことです。私たちは、天城学習で学んできたことをこれからの生活に活かし、いずれ社会を先導し、輝かしい未来を創造するために努力していきますので、これからもご支援をよろしくお願いいたします。また、伊豆中学校開校後もこのような学習を行う予定です。天城学習の学びを活かし、今度は伊豆全体の課題や活性化の方法について追求し行動を起こしていきたいです。

簡単ではありますが、生徒を代表いたしまして、お礼の言葉、そして本発表会の閉会の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



【生徒会長】